

# 『まわり道の先』 寸評

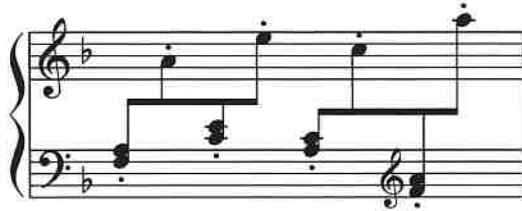
- ・ 日常にふとはさまれる詩情
- ・ それをみとめる／みつめる視線
- ・ m.1-4 左手がもたらす新鮮な和声
- ・ 伴奏リズムの工夫もよい
- ・ 奥行きのあるタイトル

完成度をさらに上げるために

- ・ m.1-3, 9 左手の四分休符はb.3が見えるよう、八分休符ふたつに



- ・ 次のように書き分けた方が弾きやすい



- ・ m.6-8 *8va*-----| は3小節まとめてつなげよう
- ・ m.1 静かに思いながら→沈思黙考ですぐ了解されるがそのまま翻訳すると思う対象が欠けているように見えるかも
- ・ m.14 主和音をなるたけm.16まで先延ばしに出し惜しみする方が効果的



- ・ m.11-12  ← 記譜

- ・ m.2 右手のスラーはb.4 まででは
- ・ m.8 b.3-4 *rit.* かメトロノーム表記のどちらかだけにしよう

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

まわり道、するもどすね。

持磨勉